

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長	平成 26 年 7 月 30 日
報告者の住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地） 〒 261-8539 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1 イオンタワー7階	報告者の氏名（法人にあつては、名称及び代表者名） イオンモール株式会社 代表取締役社長 岡崎 双一

京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。	
環境マネジメントシステムの名 称	イオンモール（株）ISO14001
適 用 範 囲	イオンモール京都五条・イオンモールKYOTO
導 入 年 月 日	平成13年 4月 18日 （登録日）
認 証 番 号	ECO1J0013
基 本 方 針	イオンモールは、資源エネルギーを有効に活用し、サービスの質を高めながらも、環境への営業を最小にするモールづくりを通じて、持続可能な社会の実現をめざします。あわせて、多くのお客さまとのコミュニケーションと地域貢献の履行に努めて参ります。 「イオンモール株式会社 環境方針」より
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	平成28年度まで（中長期計画書）当社は地球温暖化防止のため、エネルギー使用を抑制します。また、無駄な印刷や紙の使用を削減します。（平成24年度から50%削減）
目標を達成するための取組の内容	(1) CO2削減可能なショッピングモールへの転換を図ります。 (2) CO2削減可能な設備の運転管理に改善します。（設備管理意識の改革） (3) CO2削減のためお客さまをはじめとするパートナーさまへの情報を発信いたします。
目標を達成するための取組の進捗状況	(1) CO2削減対応型のエコモールを開設します。 (2) CO2削減可能なエネルギーへの転換を推進します。 (3) CO2削減可能な省エネ設備の導入を推進します。 (4) 効果的な設備管理による省エネの効率向上をめざします。 (5) 環境情報を継続的に提供します。 (6) テナント従業員への環境意識向上のための教育を実施 例：マイバック持参運動・マイ箸運動・路線バス利用等
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	◎イオンモール京都五条： ・2013年度 カラーコピー枚数 削減率（平成24年度対比）70%。 ・使用頻度の少ないエレベーターの運休によりエネルギー量の削減。 ・テナント従業員へ必要の無い電気は消すよう啓蒙をした。 ◎イオンモールKYOTO： ・2013年度 コピー枚数 削減率（平成24年度対比）40%と紙使用量を削減した。 ・省エネ設備の導入としては、平成25年10月にエスカレーター上部の照明をLEDに更新した。 ・店長会及び新規従業員向け研修にて、イオンモール（株）の環境への取り組みやテナントや個人でできるエコ行動（照明や水道の無駄づかいSTOP等）を紹介した。
事業活動に係る法令の遵守の状況	これまでに違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価及び内容の見直しとしては、原則1回、環境内部監査基準に基づき、内部監査を行っている。監査リーグを主体としたチェックリストによる監査を行う。是正がある場合は監査リーグによる是正処理終了まで監査を行っている。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。